

牧羊ひろば



神戸中央教会 教会学校

幼な子らをわたしの所に来るまま
にしておきなさい。止めてはなら
ない。神の国はこのような者の国
である。
マルコ10・14

●大宣教命令、大牧会命令に
応答する教会学校とJC・
YC活動を目指して

私たちの教会は、長らく教会学
校及びジュニア&ヤングチャーチ
に力を入れてきました。これまで
中央教会学校を含む、十校の教会
学校が開かれてきました。その中
から二つの教会（西宮聖愛と押部
谷）が生み出され、今なお働きが
進められています。幾多の変遷を
経て、現在は紹介された三つの教会学校とジュニア&ヤ
ングチャーチが継承されています。閉校余儀なくされた教会
学校の働きを通して蒔かれた福音の種も、不思議なように
実を結んでいるとの連絡を受けており、労してきた教師た

ちの大きな喜びとなっています。

さて、これらの働きは、二つのみ言葉によって導かれ、
また励まされて取り組んできました。一つめは、「あなた
がたは行つて、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊
の名によって、彼らにバプテスマを施し、あなたがたに命
じておいたいっさいのことを守るように教えよ」（マタイ
28・19〜20）との復活の主の大宣教命令です。二つめは、
「あなたはこの人たちが愛する以上に、わたしを愛する
か。…わたしの小羊を養いなさい。…」（ヨハネ21・15〜
17）との大牧会命令です。どちらかと言えば、これまでの
各活動は、前者の大宣教命令に応答すべく、教会学校開
拓が進められ、幼子と学生また若者の救いを念頭においた
働きが進められてきました。各教会学校において救霊の実
が結ばれ、またジュニア&ヤングチャーチにおいて受洗に
与かる者が起こされてきました。そのために、教師たち
によつて四つの法則を用いての個人伝道が積極的になされ、
今も青年また壮年や婦人と、信徒として加わっていること
は感謝なことです。さらに、第二世代、第三世代の教師と
して奉仕している者が加えられています。

ところで、ここ数年の傾向として、熊野教会学校と兵庫

教会学校に集う大半の幼子は、それぞれの地域の未信者家庭からであり、その働きは今までのように開拓的です。

良き実を結び、また良き感化が与えられています。中央教会学校は、比較的信者家庭からの幼子であり、家族と一緒に教会に集い、み言葉に養われて導かれている様子が見られます。当然、教師たちの取り組み方や、教案の活用にも違いがあります。ここ二年の間に、教会学校またジュニア&ヤングチャーチ出身の新教師が加わえられており、教師の養成が急務です。人から人への人格的な関わりをもつての器造りがなされていくことを願っています。概して、大宣教命令と大牧会命令に応答していく包括的な取り組みをと願われています。以下に、各教会学校の紹介をいたします。

(牧師 川原嶋晃)

●ジュニアチャーチ・ヤングチャーチ

中高生と中高生同世代の子どものための礼拝をしています。毎週日曜日9時から教会の四階で礼拝をしています。礼拝の後、中学生、高校生に分かれて分級を持ちます。月末の日曜日は、日頃来れない中高生にみんなで手紙を書いて、ジュニアの新聞とグッドニュースを送っています。

また月一回は、9時からの一般礼拝に合流します。礼拝のなかで一曲賛美をさせて頂いています。合流のときは礼拝後、スポーツをしたり、日頃ゆつくり話せる時間が少ないので昼食を作って一緒に食べて交わりをしています。

今年は中学一年生が7人も教会学校から進級してきてくれました。教師9人と鎌野直人協力牧師とで奉仕させて頂いています。

中高生は部活、勉強と忙しい日々を送る中で、み言葉に触れ合う時間を持つのがなかなか難しいということを考えて、毎週礼拝のあと暗証聖句を覚えます。6ヶ月ごとに6個のみ言葉を覚えて暗証大会をしています。

今年から、月二回のクロスワードパズルも生徒には好評で、みんな持つて帰って次の週に持参してくれます。また毎週月曜日にみ言葉メールを教師が手分けして携帯に送信



子ども聖書日課



こひつじ

しています。祈ってほしいことがあるとき、平日ならメールでくるときもあります。また聖書日課を少しコンパクトに冊子に編集して配布しています。毎年十二月のクリスマスに「子羊」という証し集を作成して教会で配布し

ています。

＊行事として

四月に歓迎会、五月に母の日のプレゼント作り、六月に花の日訪問で施設や鑑別所、拘留所に花を持っていきます。七月に卓球大会、八月にバイブルキャンプと証し会、九月にスポーツ、十月に交流会、十一月、十二月で「子羊」の原稿書きをしています。一月は元旦礼拝、親睦会、二月は次年度上がってくる六年生とボウリング大会をします。三月は教会で講師の先生を招聘して二泊三日のスプリングキャンプしょうへいをしています。



スプリングキャンプ

教師の靈性のために教師会のまゝに学びをしています。

今年からは教会学校とも連携し別に牧師による研修会も三ヶ月ごとに開くことになりました。

中高生が言葉にふれて、受洗に導かれるように。クリスチャンになつた子どもたちのこれからのために、教師一同祈り、一致して進ませて頂きたいと願っています。

●中央教会学校

神戸中央教会で礼拝をしています。

毎週、一〇時四十五分から二部の一般礼拝の時間に合わせ
て礼拝をしています。教師は九時からの一部の一般礼拝に
出席して教会学校に備えます。

礼拝は小学生科と幼稚園科と一緒に礼拝をもちます。その
あと分級の時間に分かれます。出席人数は平均一五人前後
です。



消防署訪問

大きな行事としては進級式、花の日訪問、クリスマス会などがあります。また、分校と合同でイースター礼拝、春の合同遠足、夏のサマーキャンプ、日振起日合同礼拝、秋の合同遠足。クリスマス礼拝などを行っています。

花の日訪問では、近隣の警察署、消防署にお花を届けます。また、子どもたちが自分たちで書いた作文を読み、警察・消防署への感謝の思いを伝えていきます。夏のキャンプには準備から時間をかけ、このキャンプにしか来れない子どもも多くいることから、一人ひとりがキリストの愛に触れることが出来るように、教師も祈り備え

ています。

クリスマス祝会では、子どもたちは聖誕劇の練習を毎週して、クリスマス会に臨みます。劇を通して、初めて教会に來たお友達に、クリスマスの本当の意味を伝えていきます。教師も近隣の公園などでチラシを配布します。クリスマス会には保護者の方や近隣の子どもたちが参加して一〇〇名近くになる時もあります。

教師は教職一名、信徒教師五名、補助教師三名、神学生一名で運営しています。礼拝前に短い教師会をし、礼拝に備え、月一回教師会を開催しています。



中央教会学校の子どもたち

教会員の子どもが多く、近隣の子どもたちへの伝道が出来ていないことが課題ですが、教会学校に集う一人ひとりが受洗の恵みに与るために、教師一同祈り備え奉仕をさせて頂いております。

●熊野教会学校の紹介

太平洋戦争により焦土と化した街の一角、青空のもとで、熊野教会学校は、神戸中央教会学校の分校として産声をあ

げました。そして、小さな魂にみことばの光を宣べ伝えたいと願う多くの方々の祈りと奉仕に支えられ、現在に至ることができています。この紙上にて熊野教会学校の紹介ができることを神様と皆様の前に感謝致します。

【立地条件】

熊野教会学校は神戸中央教会から一・五キロメートルほど北にある六甲山系の麓にある古い住宅街にあり、家庭の一室を開放するという形で続けています。教会から離れているため、多くの子どもたちはクリスマスチャンホームではなく、地元の小学校や保育園、また近隣のご家族との結びつきにより集った構成となっています。

【集会について】

日曜の朝九時になると子どもたちが集まってきます。遠方の場合は車などを用いて送迎を行なっています。礼拝は広めの洋間に椅子を置き、ピアノとギターの伴奏で前奏、讃美、そしてお話と続きます。時には讃美が盛り上がり何曲も踊りながら歌うこともあります。歌詞カードはパソコンの画面をプロジェクターで表示しています。このパソコンはお話の教材やまたクリスマスのページェントなどにも利用し、集会の雰囲気づくりにとても役立っています。

【主な行事】

一月…新年親睦会
三月…卒業、進級式
四月…ビデオ大会
イースター（合同礼拝）

五月…春の遠足
六月…花の日
七月…キャンプ
八月…かき氷大会
九月…振起日（合同礼拝）
十月…秋の遠足
十一月…ビデオ大会
十二月…クリスマス合同礼拝
クリスマス祝会、
キャロリング

【課題】

地域的に子どもたちが年々少なくなってきました。特に二年前に近隣にあった小学校の廃校により、ビデオ大会などの特別集会の案内なども難しい状況となっています。音楽やゲームなどを取り入れ、子どもにとって魅力のある



熊野クリスマス

内容にし、み言葉を伝えることができればと願っています。御言を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、それを励み、あくまでも寛容な心でよく教えて、責め、戒め、勧めなさい。

Ⅱ テモテ 4・2

●兵庫教会学校

兵庫教会学校は信徒の方の家を開放して行われています。

週報で今の教会学校の様子を描いてくれました。

兵庫教会学校は三十六年前に三川口の堺安代姉の家で始まりました。そこに梅北博兄や池口あや子姉が奉仕に行かれ、その後引き継がれ松本通で教会学校をしていました。阪神大震災のあと今の上沢五丁目で礼拝をしています。今の家は博兄が大工をされ、みどりの家として建てられました。



兵庫教会学校の週報

教会学校では、カツピ・アキピ・ヒロピ・アヤピ・マコピ・神学生で奉仕させて頂いています。

毎週近くの川池公園で伝道し、礼拝のあとゲームやおやつを用意しています。教会学校ですが卒業生の中学生や高

校生が来るときもあります。教会学校の夏のキャンプやクリスマス会ではバイブルレジャーとして劇もしています。

「もし信じるなら神の栄光を見る」



このみ言葉をキーワードとしています。兵庫教会学校は、礼拝に来る子どもたちがみ言葉にふれるのが今日一度かもしれないという思いから、今日イエスを信じて帰らないという気持ちで毎週祈り備えて礼拝をさせて頂いています。



バイブルマン

「おわりに」

3月11日に発生した東日本大震災によって、被災された諸教会、先生方、兄弟姉妹に、心からお見舞いを申し上げます。

そういう中で、今回も『牧羊者』二〇一一年度第Ⅲ巻をお届けできますことを感謝します。執筆者の方々には、東日本大震災によって色々と大変な中を、貴重な時間を割いて執筆していただき、心から感謝いたします。今回の教師養成講座は、山本敬夫師の「いきいきCS礼拝」を掲載しました。また、「牧羊ひろば」では、神戸中央教会の教会学校の歩みを、川原崎先生とCS教師の兄弟に紹介していただきました。

今号の執筆者、

奉仕者を紹介いたします。

聖書講解

福井文彦師 高橋頼男師 金井信生師

研究資料

山田和幸師 宮澤清志師 中島啓一師 小平德行師

メッセージ例

飯田勝彦師 和田治師 水野晶子師

ワーク(A)

吉田美穂師 鎌野幸師

(B)

野勢かほる師 竹崎光則師

(C)

田代美雪師 小菅央子師

(D)

上森恭子師 田中裕明師

中高科へのヒント

石田高保師 後藤健一師

子ども聖書日課

小野淳子師 土屋直子師 藤井洋美師

フラッシュカード

丹羽遥師

イラスト

丹羽遥師 楠淳子師 長尾明美師

ワーク打ち込み

長田栄一師 加藤清師 山田和幸師

校正

長尾秀紀師 長尾明美師

また、陰で労してくださった各師と兄弟姉妹、ワーク印刷と発送の教団事務所職員の兄弟、印刷のあくもとと菱三印刷に心から感謝いたします。

(長尾秀紀)

聖書教育教案誌 **牧羊者**

二〇一一年度Ⅲ巻

三〇一一年十月一日発行

発行所 日本イエス・キリスト教団

企畫監修 日本イエス・キリスト教団 教会学校局

電話 〇七五五七五五五

FAX 〇七五五七五五五

印刷所 菱三印刷株式会社

電話 〇七五五七五五五

*日本聖書協会『口語訳聖書』使用許諾済み